

2 農作物の被害状況

(1) 水稲

管内の被害面積は6,050haで作付面積(11,467ha)の52.8%を占めた。

三条市では、冠水(767.6ha)や浸水(3,614ha)の他、河川の決壊による土砂の流入(117.8ha)、水不足による穂枯れ(300ha)などにより、水稲作付の全面積に相当する4,799.5haに被害が及んだ。

加茂市でも、冠水・浸水で971haに被害が及び、水稲作付面積の81.1%を占めた。

管内の24年産水稲作付不能面積は約70haに及んだ。また、降雪が多く消雪が遅れたことから復旧工事が進まず、田植時期の遅延した面積は約40haとなった。

(2) 大豆

管内の大豆の作付面積799haのうち、冠水・浸水の被害を受けた面積は324.5haで40.6%を占めた。

(3) 果樹

信濃川の増水により堤外地の果樹地帯を中心に、収穫期を迎えていたもも、ぶどう、なしに甚大な被害が発生した。三条市、加茂市、田上町合計で約211.7haの果樹園が冠水、浸水等の被害を受けた。

(4) 野菜

三条市、田上町の信濃川堤外地、燕市の中之口川流域を中心に、収穫期のえだまめ、なす、ねぎ、キャベツ等に冠水、浸水の被害が発生した。

また、スレ、枝折れなど物理的損傷、汚水や汚泥の堆積による枯死や疫病、軟腐病等の病害発生などにより、総計は93.5haで約4億円の被害が発生した。

(5) その他作目

ア 花き

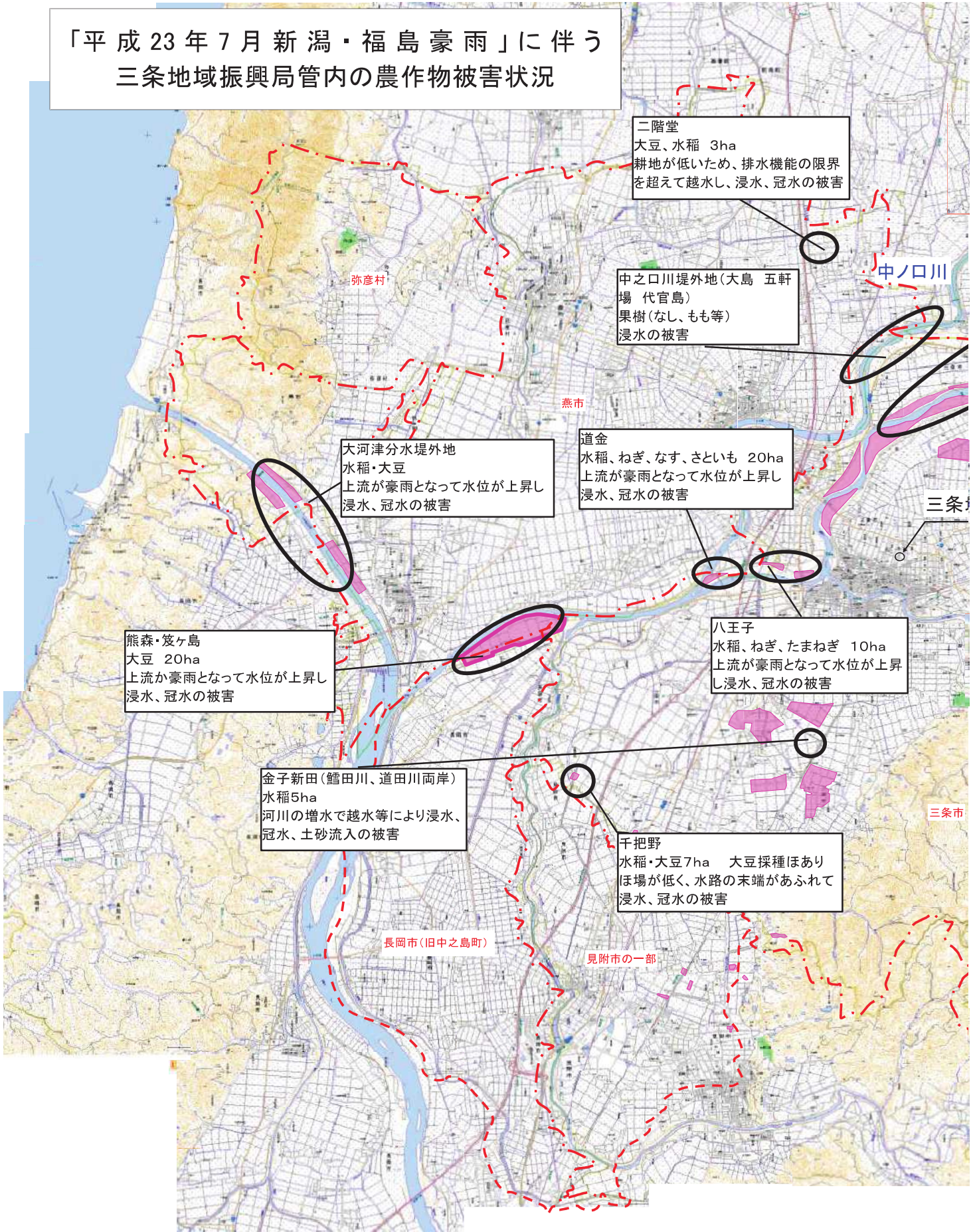
切り花ハウス、ナルコラン栽培ほ場では、ハウスの倒壊、作土流出、ほ場の冠水・浸水被害が発生した。開発畑では土砂崩れ、土砂の流入・作土流出、畝の崩れ等の甚大な被害が発生した。

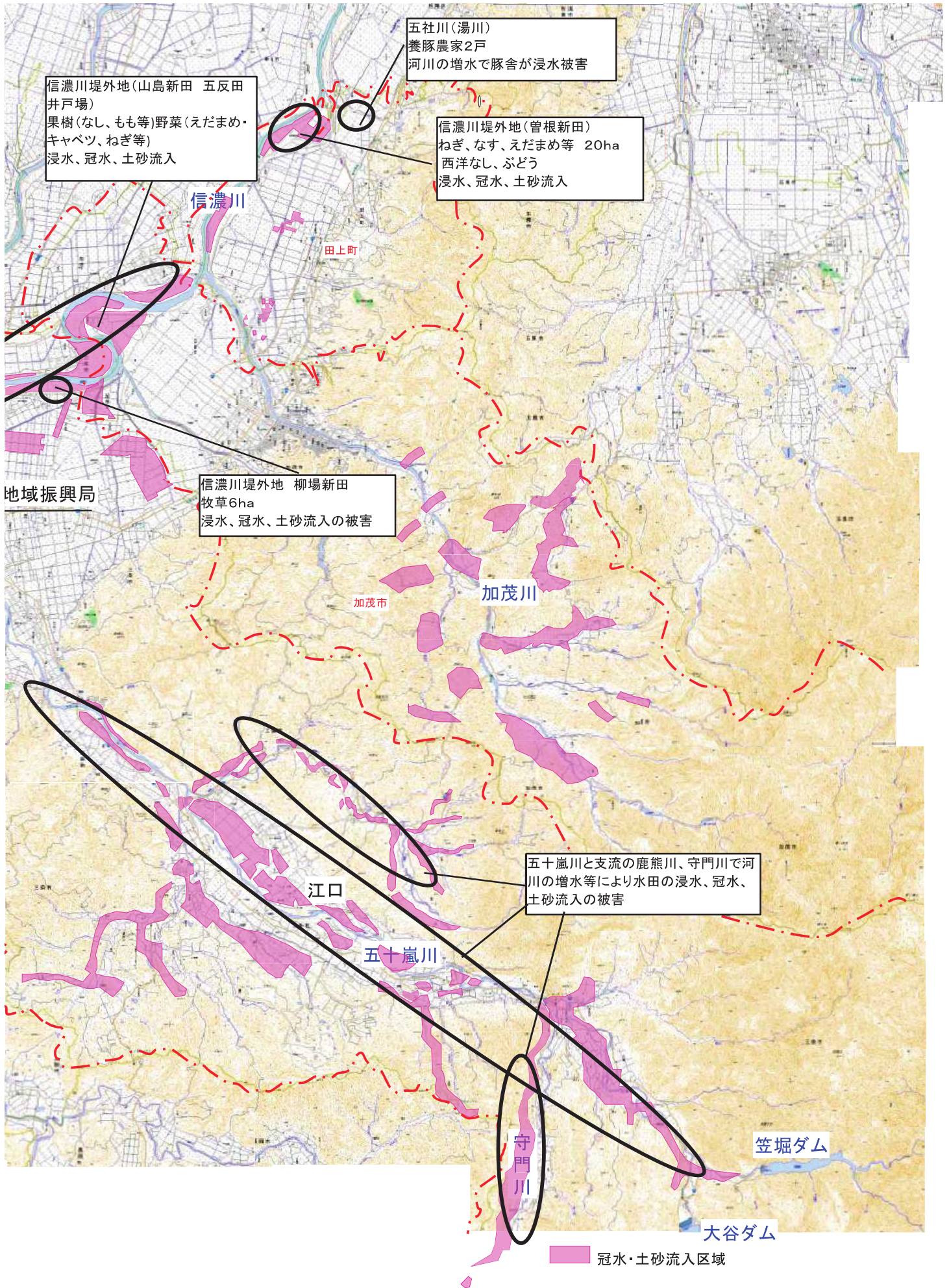
また、ユリ切り花の被災ほ場では、収穫皆無の他、疫病、茎腐病(通称バツタン病)等の病害が多発した。

イ 畜産

三条市の信濃川堤外地の牧草地約4haが冠水し、収穫中の牧草ロール55個が流された。また、田上町の養豚では子豚6頭が死亡した。

「平成23年7月新潟・福島豪雨」に伴う
三条地域振興局管内の農作物被害状況





市町村別農作物被害状況

作目等	市町村	被害面積(ha)	被害額(千円)
水 稲	三条市	4,799.5	765,445
	加茂市	971.0	141,361
	燕市	61.0	29,706
	田上町	218.5	15,497
	小計	6,050.0	952,009
大 豆	三条市	252.7	23,167
	加茂市	16.0	1,558
	燕市	38.0	19,836
	田上町	17.8	2,970
	小計	324.5	47,531
そ ば	三条市	86.0	4,531
	田上町	2.7	77
	小計	88.7	4,608
野 菜	三条市	55.4	280,775
	加茂市	13.0	25,345
	燕市	5.2	30,225
	田上町	19.9	59,895
	小計	93.5	396,240
果 樹	三条市	40.9	338,007
	加茂市	170.4	581,339
	田上町	0.4	4,000
	小計	211.7	923,346
花 き	三条市	1.0	2,675
	田上町	1.3	6,099
	小計	2.3	8,774
畜 産	田上町		225
計		6,770.6	2,332,733

3 農業施設の被害状況

(1) ビニールハウス

被害のあったビニールハウスは全体で14棟であり、被害程度別では全壊が8棟、小壊が6棟、利用目的別では水稻育苗用が2棟、園芸用が12棟だった。

(2) ビニールハウス以外の施設

個人所有の農舎1棟が全壊した他、農協等が所有するライスセンター、育苗施設、病虫害防除施設、農業倉庫各1棟で被害があったが、程度はいずれも小壊だった。

市町村別農業施設被害状況

施 設	市町村	被害箇所数	被害額(千円)
ビニールハウス	三条市	14	24,999
ライスセンター	三条市	1	28,172
育苗・栽培施設	三条市	1	939
農業倉庫等	三条市	1	200
	加茂市	2	7,435
計		19	61,745